

平成 21 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	農商連携による地元産良質小豆を使い南信州和菓子作り事業
事業主体 (連絡先)	飯田下伊那菓子組合 理事長 黒田 誠 0265-22-1930
事業区分	
事業タイプ	ハード
総事業費	1, 620 千円 (うち支援金: 1, 620 千円)

事業内容

小豆の実用規模生産量及び品質の確保にむけて、小豆自動選別機を導入して選別作業の効率化を図り、農商連携して中山間地における小豆の地産地消を推進する。

導入機種 小豆自動選別機 (摩擦方式) 一台

(写真は別紙)

(活動写真)

【 】

自己評価 (事業実施率) 【A】

事業効果

小豆選別能力

1時間当たり小豆 30~50 kg (選別実績量約 1、1t)。

小豆内の小石、ゴミ、その他異物に対してはほとんど、取れ選別効果は良好であった。

生産者にとって選別作業の軽減の目的は達成できた。

今回の小豆を利用し菓子組合の屋台獅子最中のあんこに使いお練りの際販売をした。

選別、販売写真は 別紙

【目標・ねらい】

- 小豆の中の異物の除去。
- 小豆の選別作業の軽減。
- 小豆生産量を増やす。
- 菓子に使用し販売をする。

自己評価 (目標達成率) 【A】

今後の取り組み

選別機の導入により小豆生産者にとって選別作業の軽減、及び異物除去の目的達成は出来たので中山間地の休耕利用、高年齢者による小豆生産をより推進する。

最終目的の 3~4t 以上の飯田下伊那産の南信州産小豆の生産を推進し地産地消体制を図る。

組合にて地元産小豆を利用して銘菓の製品開発をする。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。

地域発 元気づくり支援金

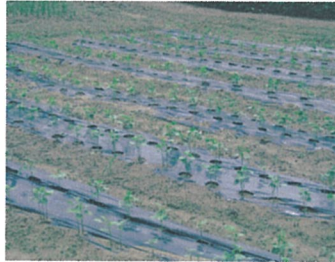
飯田下伊那菓子組合

小豆作り

(種まき) 7/12



(発芽 2 週間)



(1ヶ月)



(開花 3 週間目)



(収穫 9/28)



(乾燥中)



(小豆選別機)



(試運転調整)



(試運転調整)



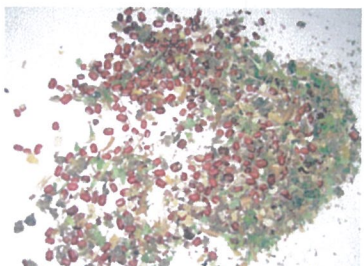
(選別前小豆)



(選別後小豆)



(選別後のくず)



事業内容写真

(選別中)

